



Ichikawa Declaration for Healthy Cities

健康都市市川宣言

October 25, 2008, Ichikawa, Japan

2008年10月25日 日本国 市川市

健康で安全な社会の実現（Health Security：健康の安全保障）について世界各国において関心が高まってきている。今日の人々の健康に対する脅威には、疾病の急速な広がり、気候変動、環境汚染、食品の安全性に関する危惧、犯罪、人間関係の希薄化、急速な高齢化、紛争、自然災害が含まれている。

健康で安全な社会の実現に向けて、世界規模や国の単位での取り組みがすでに始まっている。しかしながら、人々が生活の基盤をおく都市の単位において、都市があらゆる能力を発揮してこれらの課題の解決に取り組み、地域のもつ力を引き出す効果的な仕組みづくりなくしては、世界の人々の健康と安全を確保することはできない。今日、都市は健康で安全な社会の実現にむけてその最前線にあり、その貢献に対し注目が集まっている。

資源、情報、ヘルスケア、社会的支援へのアクセスが平等でなければ、健康の脅威への対応能力に差が生じてしまうであろう。

この20年間、世界各地で健康都市プログラム発展のための長期的視点にたった取り組みが行われてきた。都市は、世界保健機関、学術専門家、地域の協力を得ながら、健康の脅威に対して備え、健康格差を解消する手段として、健康都市の取り組みを発展させてきた。

2003年の健康都市連合の設立以来、120の都市と団体が健康都市の手法に賛同し、唱道してきた。そして、それぞれの都市において、人々の健康を高めるための総合的な公共政策へと進化させ、健康の社会的決定要因（Social Determinants of Health）に着目したプログラムを実施し、人々の生活の質（Quality of Life）を高めてきた。

2008年10月23日から26日、日本国市川市における第3回健康都市連合国際大会に参加した、都市、まち、大都市圏、行政組織、地域、学術団体において主要な役割を担う我々は、以下のことを約束する。

- 健康で安全な都市社会の実現のため、市民、地域グループ、民間団体とともに取り組みを進める
- 人々の健康を高めることを目指す、総合的な公共政策を進める
- 学術団体や地域と連携し、根拠に基づく対策（Evidence-based Actions）を進める

- 広範な健康の社会的決定要因への対応と健康格差の解消のため、行政組織内の様々な部門の連携を進める
- 各地域の先進的な取り組みから得られる教訓を共有することにより、相互の情報共有を進める

これらの約束のひとつひとつは、我々が誇りを持って取り組む、都市に住む人々の健康をまもり推進するという目標を達成することにつながるものである。

行動の要請 (A Call for Action)

より健康で安全な都市社会を構築するため、我々は以下のことを決意する。

- 以下のことにより、人々と地域の能力開発を進める
地域間の強固な相互関係を促進するための場 (Settings) を設ける
地域間の協力関係を築くため、組織的な取り組みを促進する
地域に根ざして活動し健康都市を推進する人材が学ぶ機会を設ける
取り組みから得られた教訓を世界の様々な地域で共有する
10月の国際健康都市月間に様々な取り組みを行う
- 以下の目的で、都市と学术界の連携を促進する
根拠に基づく対策を進める
政策の戦略的な策定、実行、評価を進める
公共政策に携わる人々の知識と技術を高める
- 以下のことにより、国際的な連携を促進する
市民の取り組みを通して得られる教訓を共有するための機会を増やす
国際的な協力体制のための持続可能な仕組みを創設する
平和を実現するための国際的協力の必要性の理解を深める

また、我々は以下のことを要請する

- 世界保健機関をはじめとする国際機関や、国の組織に対し、都市化が進む社会において健康や生活の質の改善をはかるための、地域市民の活動を支援すること
- より多くの地域や個人に対し、健康で安全な都市社会を築くことを目指してともに行動をおこすこと
- より多くの都市に対し、健康都市の取り組みを取り入れ、都市に住む人々の健康と生活の質の改善を都市政策の中心にすえること
- 健康都市連合のネットワークの発展に向け、より多くの都市と地域が、我々の取り組みに参加すること